

回復基調にある県内経済

県内経済は、消費の一部で明るい動きを見せており、生産活動や雇用情勢等で改善が進んでいることから、前月に引き続き景気は回復基調にある。

県内経済動向の概要

	項目	前年同月比	前月比
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	↗	↘
	乗用車新車登録台数	↗	↘
	乗用車中古車登録台数	↗	↗
投資動向	公共工事前払保証取扱保証金額	↘	↘
	建設着工棟数（民間・非居住用）	↗	↗
	新設住宅着工戸数	↗	↗
生産活動	鉱工業生産指数（総合）注1	↗	↗
	大口電力販売量	↗	↗
	清酒	↗	↗
企業倒産	企業倒産件数	↘	↘
	企業倒産金額	↘	↘
雇用動向注1	有効求人倍率（パート含む）	↗	↗
	新規求人倍率（パート含む）	↗	↘

良い ↗ 良化傾向にあるがほぼ横這い ↘
 悪化傾向にあるがほぼ横這い ⇨ 悪い ↘

注1：季節調整済。

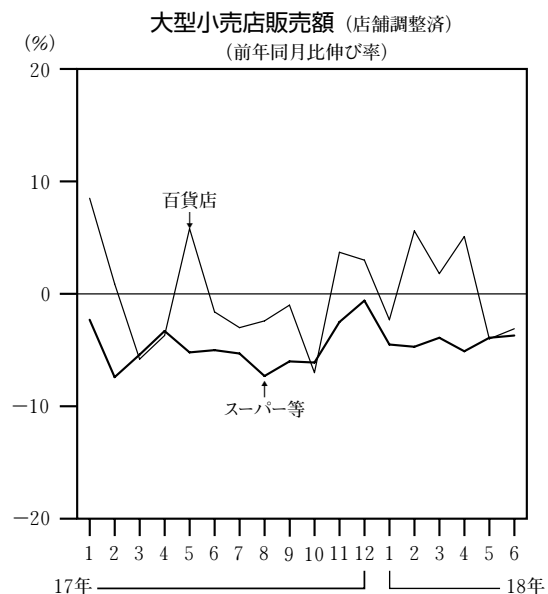
消費動向

大型小売店 東北経済産業局の速報によると、6月の県内大型小売店の販売額は185億2百万円（全店舗、店舗調整前）となり、前年同月比4.0%増と3ヵ月連続で前年を上回ったが、天候不順の影響で前月比では3.2%減となっている。業態別にみると、百貨店では、衣料品が前年同月比2.7%減となり、飲食料品も同2.6%減となったため、合計33億38百万円（同3.1%減）と2ヵ月連続で

前年を下回った。スーパーでは、衣料品が同9.0%減となったが、主力の飲食料品が同10.3%増となり、合計151億64百万円（同5.7%増）と4ヵ月連続で前年を上回った。

ホームセンター 7月は、前年と比べて日用品の売上が一部で伸びたものの、長雨などの影響でDIY用品及びレジャー用品の売上が落ち、全体の売上は前年同月比でやや減少となった。前月比では夏休みの影響により、売上は増加している。

家電量販店 8月の売上では、地上デジタル放送対応テレビが好調を維持しているものの、白物家電が特に冷蔵庫を中心に前年売上を下回り、全体的には前年同月比でやや減少している。前月と比



（資料：経済産業省）

べると、セールによる売上増に加え、夏休みのため、若年層の来店客が増加しており、携帯音楽プレーヤーなどに動きが見られる。

乗用車販売 7月の乗用車新車登録台数（軽乗用車含）は、6,200台で前年同月比1.6%減（前月比2.9%減）と4ヵ月連続で前年を下回った。車種別では、大型乗用車が850台（同5.2%減）と2ヵ月ぶりに、中小型乗用車が3,116台（同9.8%減）と10ヵ月連続で前年実績を下回った。軽乗用車は、2,234台（同14.5%増）と2ヵ月連続で前年を上回った。

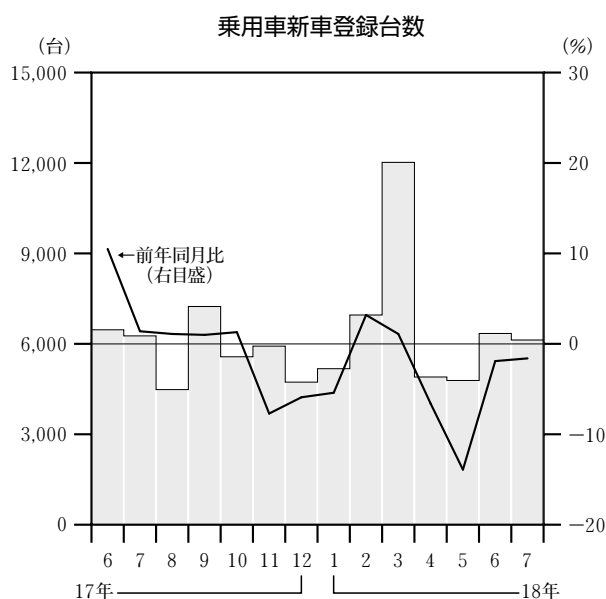
中古車販売 6月の乗用車中古車登録台数（軽自動車は、名義変更を含む）は、10,684台と、前年同月比1.6%減となったが、前月比では7.8%増となっている。車種別にみると、普通（2000cc超）は、3,230台と前年同月比1.5%減、小型（2000cc以下）は4,415台と同4.7%減となった。一方、軽乗用車は3,039台と前年同月比3.3%増となった。

消費者物価指数 6月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、平成12年=100）が98.8と前月比

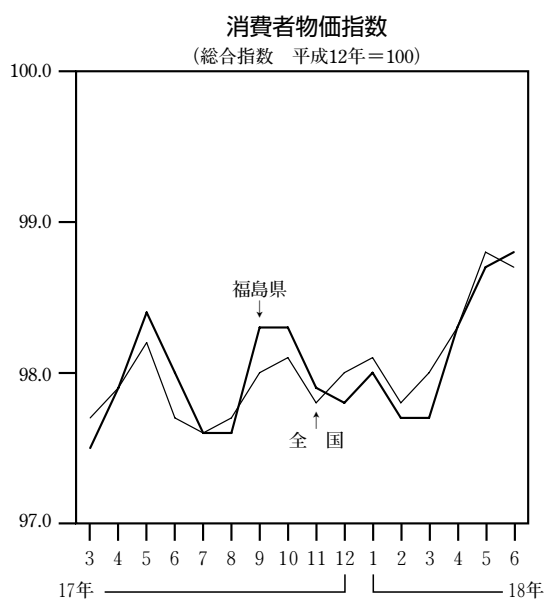
で0.1ポイント、前年同月比では0.8ポイントそれぞれ上昇した。10大費目の指数の動向をみると、「被服及び履物」は92.7と前月比0.9ポイント増、「住居」は105.0と同0.2ポイント増となった。逆に、「交通・通信」は101.3と前月比0.1ポイント減、「保健医療」は99.5と同0.2ポイント減となった。「光熱・水道」は110.1、「食料」は97.5、「教育」は103.0と、それぞれ前月比で横這いである。

外食産業 7月における福島県内実績のうち、売上と来店客数は、前年同月比でほぼ横這いとなったが、夏休みに入ったため、前月と比べて増加している。

旅行 6月の旅行取扱い額実績のうち、国内旅行は個人、団体ともに前年比で減少しており、海外旅行では個人が減少しているものの、団体が修学旅行の影響で大きく増加している。7月の出発人数を見ると、個人の国内旅行は前年同月比でやや減少しているが、海外旅行は大きく増加している。行き先でもっとも多いのは、国内が東北、海外が欧州となった。



(資料：県自動車販売店協会)



(資料：県企画調整部 情報統計領域)
 ※平成17年3月以降は福島市の消費者物価指数を福島県の消費者物価指数とみなす。

— 交 通 —

高速道路 7月の磐越自動車道5料金所の通過台数は、合計で439,965台（前年同月比4.2%減）となり、14ヵ月ぶりで前年を下回った。

料金所別では、猪苗代磐梯高原91,768台（同7.4%減）、磐梯河東106,392台（同2.8%減）、会津若松175,623台（同2.8%減）、会津坂下42,756台（同6.4%減）、西会津23,426台（同3.2%減）となった。

福島空港 7月の福島空港の利用状況は、国内便が、札幌便で13,015人（前年同月比15.6%減）、大阪便で16,444人（同16.2%増）、沖縄便で5,899人（同2.0%増）、名古屋便は2,201人（41.2%減）となった。

国際便では、上海便が1,569人（同5.4%増）、ソウル便が、6,545人（同101.2%増）となった。

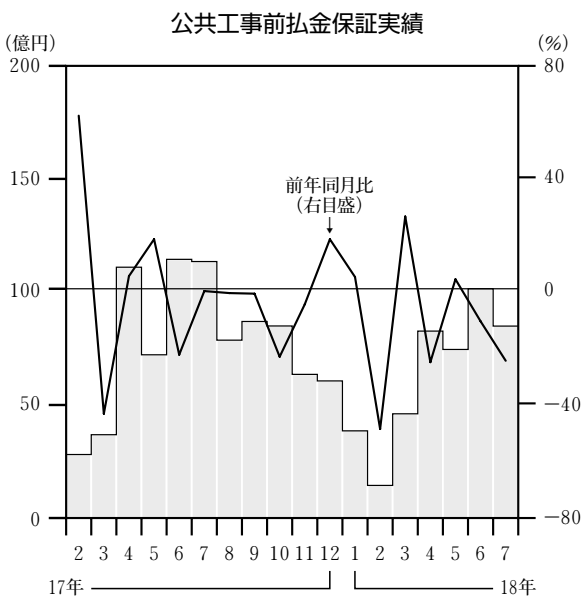
7月の搭乗率をみると、国内便が55.1%（同0.2ポイント増）、国際便が78.8%（同8.8ポイント増）となった。

— 投 資 動 向 —

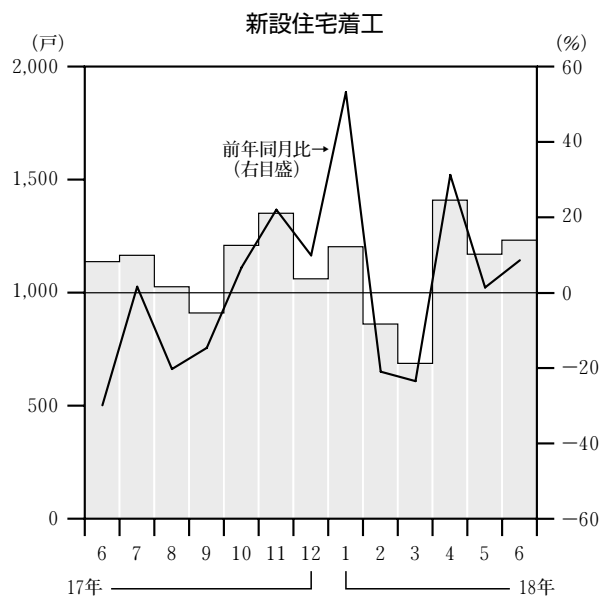
公共工事 7月の公共工事前払保証取扱いは、件数629件（前年同月比20.1%減）、保証金額85億13百万円（同25.0%減）、保証対象である請負金額は217億31百万円（同26.7%減）となった。保証金額は前月比で16.1%減となった。発注者別の請負金額をみると、国が19億34百万円（同66.8%減）、県が94億16百万円（同4.1%増）、市町村が95億53百万円（同22.1%減）などとなった。

設備投資 6月の建築着工（民間・非居住用）は、棟数が267棟（前年同月比29.6%増）、床面積が148,743㎡（同3.4%増）、工事費予定額が170億21百万円（同28.5%増）となった。

住宅建設 6月の県内新設住宅着工戸数は、1,235戸と前年同月比8.6%増、前月比5.6%増となった。利用関係別でみると、貸家は531戸（同58.5%増）増加したが、持家は640戸（同4.6%減）、分譲は64戸（同51.1%減）、給与住宅（社宅等）は0戸となった。



（資料：東日本建設業保証㈱）



（資料：国土交通省）

— 生産活動 —

清酒 6月の清酒移出数量は1,513kl（前年同月比0.8%減）と、2ヵ月ぶりで前年を下回ったが、前月比では1.3%増となっている。一般酒が1,054kl（同2.9%減）と2ヵ月ぶりで前年を下回ったものの、特定名称酒が460kl（同4.4%増）と9ヵ月連続で前年を上回っている。

化合繊維物 7月の化合繊維物のうち、ナイロンは、ダウンジャケットなど冬物衣料用などの受注が前年同月比で増加し、生産が伸びている。一方、ポリエステルは、ナイロン中心の生産時期にあたっているため、前年比でやや生産減となっている。

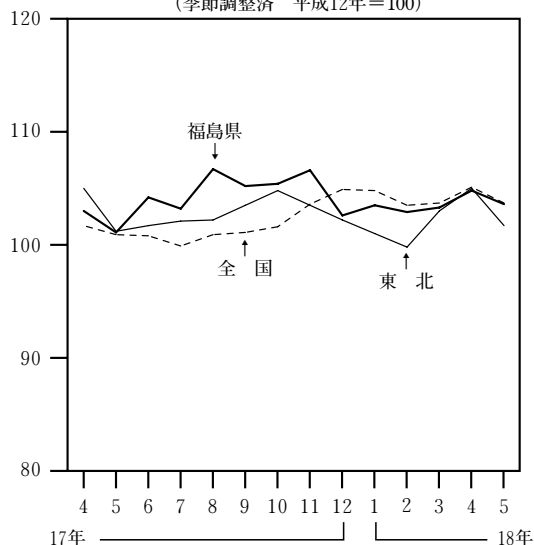
ニット 7月は、秋冬物生産の最盛期を迎え、前月比でやや増産となっているが、生産量は前年比では減少している。業界団体による展示会開催など、努力が続けられている。

木材・木製品 5月の県内木材6市場の製材品入荷は、2,511m³（前年同月比27.0%減）、販売量は2,164m³（同24.0%減）となった。また、県内9市場の素材入荷量は18,991m³（同4.0%減）、販売量は18,753m³（同3.0%増）となった。

紙・紙加工品 7月の感熱紙、インクジェット紙など情報用紙は、受注が確保され、前年同月並の生産を維持しているが、原材料高騰などにより収益環境は厳しくなっている。7月の段ボールは、農産物向けなどの受注が伸びており、前年同月比で生産増となっている。

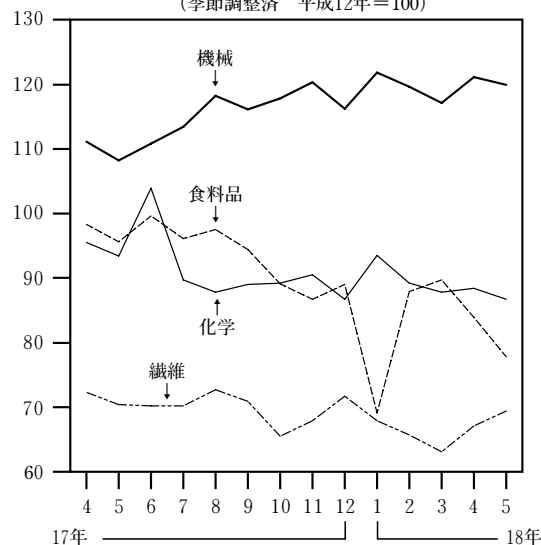
化学 7月の金属代替プラスチック向け原料のKPS樹脂など高機能製品は、受注が好調であり、前年比、前月比ともに増産となっている。酸化チタン（塗料用）、バリウム化合物（電子部品原料）は受注が確保されており、前年並みの生産水準を維持している。

鉱工業生産指数（全国、東北との比較）
（季節調整済 平成12年=100）



（資料：県企画調整部 情報統計領域）

県内鉱工業生産指数
（季節調整済 平成12年=100）



（資料：県企画調整部 情報統計領域）

窯業・土石 7月の生コンクリート出荷量は、白河の病院の新築工事と半導体工場の増築工事、相双での電力関連施設の新設工事など民間需要が増加したため、126,593m³（前年同月比11.7%増）となった。

鉄鋼・金属 7月の鋳造品のうち、トラック用は、国内の排ガス規制による受注増が続いており、前年同月比で増産となった。また、電車車両用は、NYの地下鉄向けなどの受注が好調なため、生産を大きく伸ばしている。建機用も北米、欧州向けの受注が伸びており生産増となっている。

電気機械 7月の電気機械のうち、電熱炉は県外（関東など）からの受注が増加しており、前年同月比で生産が大きく伸びている。変圧器、配電盤など電源関係も、国内向けの受注が好調に推移しており、前年同月比で生産が増加している。

情報通信機械 7月の携帯電話用マイクロ波通信機器の生産は、国外（アジア諸国）の受注が好調

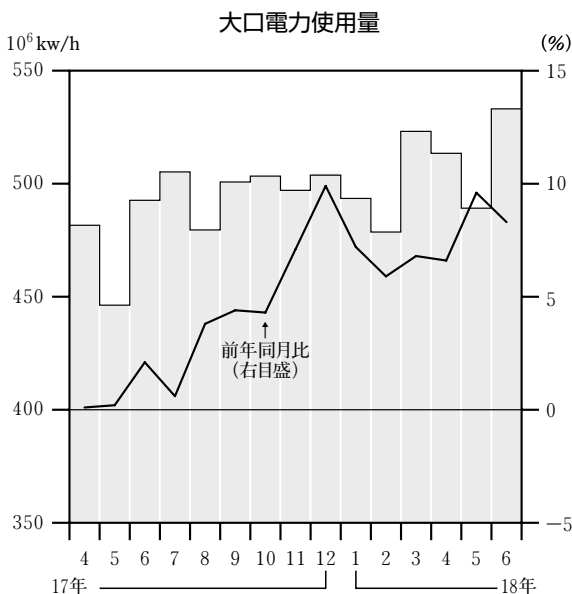
であり、前年同月比で増加した。その他、衛星通信機器などは、受注が確保されており、前年並みの生産を維持している。前月比でも、全体の生産水準はほぼ横這いとなっている。

電子部品・デバイス 7月のLSI（大規模集積回路）は、ゲーム機、薄型テレビ向けの受注増により、前月同様、高い生産水準が維持されており、前年同月比でも生産が伸びている。

輸送用機械 7月の自動車用オイルシールは、アジア諸国など国外向けの受注が伸びており、前月とほぼ同じ水準であるが、前年同月比でやや増産となっている。

精密機械 7月の医療用内視鏡は、製品、修理用部品など海外からの受注が好調であり、前年同月比で大きく生産が増加した。月毎にみると、稼働日の違いによる生産量の変動があるが、概ね増加基調で推移している。デジタル一眼レフカメラ用交換レンズは、新機種発売などの影響で、国内外で受注が伸びており、前年同月比で生産増となっている。

大口電力 6月の大口電力販売量は、534百万kw/hと前年同月比8.3%増となり、前月比では9.1%増となった。主な販売先を業種別にみると、「電気機械」が115百万kw/h（同2.4%増）、「非鉄金属」が84百万kw/h（同15.1%増）、「輸送用機械」が57百万kw/h（同6.9%増）、「一般機械」が31百万kw/h（同6.7%増）、「化学」が54百万kw/h（同5.1%増）となっている。一方、「食料品」は16百万kw/h（同0.5%減）であった。



(資料：東北電力福島支店)

— 金融動向 —

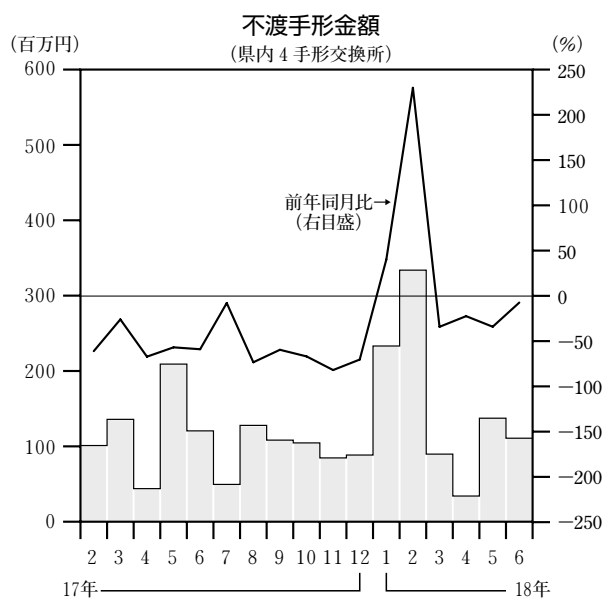
資金需要 日本銀行福島支店によると、県内金融機関（全国銀行、第二地銀、信用金庫、信用組合の県内店舗分）の6月末の預金残高は6兆1,201億円と、一般預金の増加などにより、前月比で1.4%増となったが、前年同月比では0.4%減となり、2ヵ月連続で前年を下回った。

また、6月末の貸出金残高は、3兆8,420億円と前月比で0.3%増となり、前年同月比でも0.3%増と15ヵ月連続で前年を上回っている。

保証協会 7月の保証承諾は、件数1,527件（前年同月比6.8%減）、保証金額133億19百万円（同24.7%減）となった。

代位弁済は、件数76件（同123.5%増）、金額7億21百万円（同127.8%増）となった。

7月末の保証債務残高をみると、件数43,152件（同4.8%増）、金額3,065億24百万円（同3.1%増）となった。

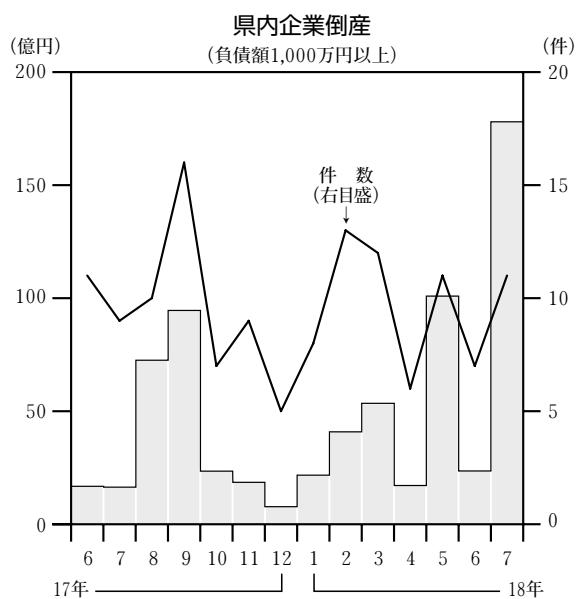


(当研究所調べ)

— 企業動向・雇用動向 —

企業倒産 7月の企業倒産（負債総額10百万円以上）は、件数が11件（前年同月比2件増加、同22.2%増）となり、負債金額は、ゴルフ場の倒産などにより178億41百万円と同980.0%増加した。地区別では、多い順に県南が5件で、150億28百万円、会津が3件で17億35百万円、浜通りが2件で10億円、県北が1件で78百万円となった。原因別では、受注・販売不振が10件と全体の90.9%を占めている。

雇用動向 6月の有効求人倍率（季節調整済、パート含）は、前月より0.01ポイント上昇して0.91倍となり、前年同月比では0.08ポイント上昇した。新規求人倍率（季節調整済、パート含）は1.22倍と前月比で0.15ポイント下降し、前年同月比では0.01ポイント上昇した。6月の雇用保険受給者実人数は、9,946人（前年同月比13.5%減）と45ヵ月連続で前年を下回った。



(資料：帝国データバンク福島支店)